

春日部市立江戸川小中学校の教育

春日部市の学校教育 ～地域に根差した魅力ある学校づくり～

【伝え合い 学び合い 育ち合い 思い合いが うれしい教室 うれしい学校】

魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動

- ・基礎学力の定着及び向上
- ・社会の変化に対応した教育の充実
- ・豊かな心の育成
- ・特色ある学校づくりの推進
- ・心身の健康づくりと体力の向上
- ・教職員の資質向上
- ・学習環境の充実



小中一貫教育の基本方針

- 1 義務教育9年間を見通した系統的・継続的学習活動による学力・体力の向上
- 2 児童生徒の交流、体験活動による豊かな人間性・社会性の育成
- 3 共通の教育観に基づく子供の発達段階に応じた指導・支援の推進
- 4 異年齢交流等を活かした地域に根差した特色ある教育活動の展開
- 5 教職員の専門性を活かした指導体制

学校教育目標

自ら学び、考える子	(確かな学力)
心豊かで、思いやりのある子	(豊かな人間性)
たくましく生きる元気な子	(健やかな体)

目指す学校像

- 1 生き生きと学び、活気あふれる学校
- 2 安心して過ごせる学校
- 3 信頼され、愛される学校
- 4 地域の伝統や文化を学び、大切に受け継ぐ学校
- 5 一人一人が全力を尽くし、児童・生徒・職員の笑顔が輝く学校

目指す子供像

- え** 笑顔であいさつする子 (基本的な生活習慣)
 - 前 元気にはっきりと
 - 後 自分から感謝の気持ちで
- と** 堂々と意見を言う子 (思考力・表現力)
 - 前 周りに聞こえる声の大きさで
 - 後 しっかり聞きわかりやすく
- が** 頑張りぬく子 (確かな学力・体力)
 - 前 めあてを持って
 - 後 集団への貢献も考えて
- わ** わかりあう子 (思いやりの心)
 - 前 相手を考えて行動
 - 後 相手を理解して助言

確かな学力の向上

- 9年間を見通した系統的、継続的な指導により、小中の教員が協働して児童生徒の理解に努め、一人一人の学力向上に取り組む。
- 5・6年生に、一部教科担任制と50分授業を取り入れ、専門的な指導を実施するとともに、基礎・基本の定着の振り返り学習を行い、豊かな学びのある授業を展開する。
- 子供たちを多くの目で見守り、共有された「学力観」「指導観」「評価観」のもと、一貫した指導方法に基づく教育を行う。
- 家庭学習の手引きの作成、各種検定の実施、放課後や長期休業中の補習等を通して、低学年から「わかるまで学習する」という学習習慣を確立する。

豊かな心の育成

- 夢と希望をもち、自分も他の人も大切にする児童生徒を育成する。
- 9年間を見通した道徳教育や各種体験活動、異年齢交流等を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。
- 各種学校行事を通して、豊かな情操と協調性、礼儀や節度ある態度を育む。
- 地域との連携を通して、様々な知識を得るとともに、地域の伝統文化の継承者として人との接し方や人の気持ちを理解する心を育てる。

たくましく生きる体力の向上

- 9年間を見通した保健指導により、健康面に配慮した体力向上プログラムを実施し、一人一人にあった体づくりを推進する。
- 異年齢集団による活動を通して、互いの発達段階を配慮して互いを敬い、粘り強く取り組む意欲を育てる。
- 新体力テストの経年変化を全職員で共有し、共通行動で課題解決を推進する。
- 5年生から、希望制による部活動を推進し、自主的・主体的に取り組む意欲を育てるとともに技能の向上を目指す。

教育課程

ジュニア

(第1学年～第4学年)

繰り返し学び、基礎・基本を徹底して鍛え教える

- 学級担任制
- 45分授業
- 児童生徒会低学年ブロック代表 4年生
- 低学年ブロック用の生活のきまり

ミドル

(第5学年～第7学年)

基礎・基本を生かして意欲的に学ばせる

- 5・6年生は、学級担任制と教科担任制の併用
- 7年生は教科担任制
- 50分授業
- 5年生以上は同じ生活のきまり(除く制服)
- 児童生徒会役員は5年生以上で選挙
- 5年生から部活動入部可

ハイ

(第8学年・第9学年)

基礎・基本を応用して主体的に学ぶ

- 教科担任制
- 50分授業
- 習熟の程度に応じた授業展開(数学・英語)
- 進路選択に向けての計画的指導

学校経営の重点

(1) 学力の向上

- ① 9カ年を見通し、発達段階を重視した指導の徹底
 - ア ジュニア、ミドル、ハイの各クラスでの指導方針の明確化 ※ジュニア「徹底して鍛え教える」、ミドル「意欲的に学ばせる」、ハイ「主体的に学ぶ」と段階を意識した学習習慣の定着を図る粘り強い指導の推進
 - イ 授業のねらいの明確化と振り返りの学習を重視する豊かな学びのある授業の展開
- ② 9年間の学習内容の系統性や継続(連続)性を重視する指導計画の作成と活用
 - ア 学習指導要領に即した教育課程の編成・実施・評価・改善
 - イ 組織的な学習内容の研究による指導内容の工夫と充実
- ③ “日々の授業が最良の研修の場”を意識させた授業づくりによる教員の授業力向上
 - ア 教材研究や指導法の工夫、新たな指導法の情報共有、相互授業参観による指導力の向上
 - イ 全国学テ等の各種学力テストの分析による課題等の把握と授業での効果的な活用
- ④ 家庭・地域と連携した子どもの学習力の向上
 - ア 発達段階での学習方法を示した「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の定着
 - イ 学びの場を地域に求め、地域の教育力の活用した体験的な学習の推進

(2) 豊かな心の育成

- ① 積極的な生徒指導の推進による、子どもが安心して活躍できる環境の整備
 - ア 日常の子どもたちとの関わりを重視し、子どもたちの活動を近くで見守る中での適切な励まし
 - イ 頑張っていることを互いに認めて励まし合う仲間作り、集団づくり
- ② 道徳教育の充実による道徳的実践力の育成
 - ア 全教育活動を通じた一人ひとりを大切にする道徳教育の推進
 - イ 道徳の時間の充実を図る教材づくりと議論する道徳を推進する指導法の研究
- ③ 夢を育む豊かな体験活動の推進
 - ア 地域を知り地域愛を育む伝統行事への積極的な参加と継承、人としての優しさを育むボランティア活動の奨励

イ 自身の適正を知り、様々な体験を通して夢を抱き、夢を実現するために自ら努力できる生活環境の整備

(3) 家庭・地域との連携（地域立の学校）

① 日常からの保護者との連携の推進

ア ホームページを活用したタイムリーな情報発信や保護者会等での丁寧な情報提供

イ 各種アンケート実施による学校の教育活動に対する保護者の意見の集約と活用

②後援会、地区長、民生委員児童委員等との協議会や学校評議員会等を通じた地域との連携の推進・強化

ア 定期的な情報交換による学校の安心安全の確保と教育活動の充実

イ 地域の施設や史跡、人財を積極的に活用した授業づくり

③社会に開かれた教育課程の編成・実施

ア 学校評価の実施による保護者・地域の意見集約とその効果的な活用

イ 地域の思いや特色を盛り込んだ特色ある教育活動の実施